資料6
中央教育審議会大学分科会
大学院部会（第74回）
H27.4.6

平成２５年度大学院活動状況調査結果
（速報値）

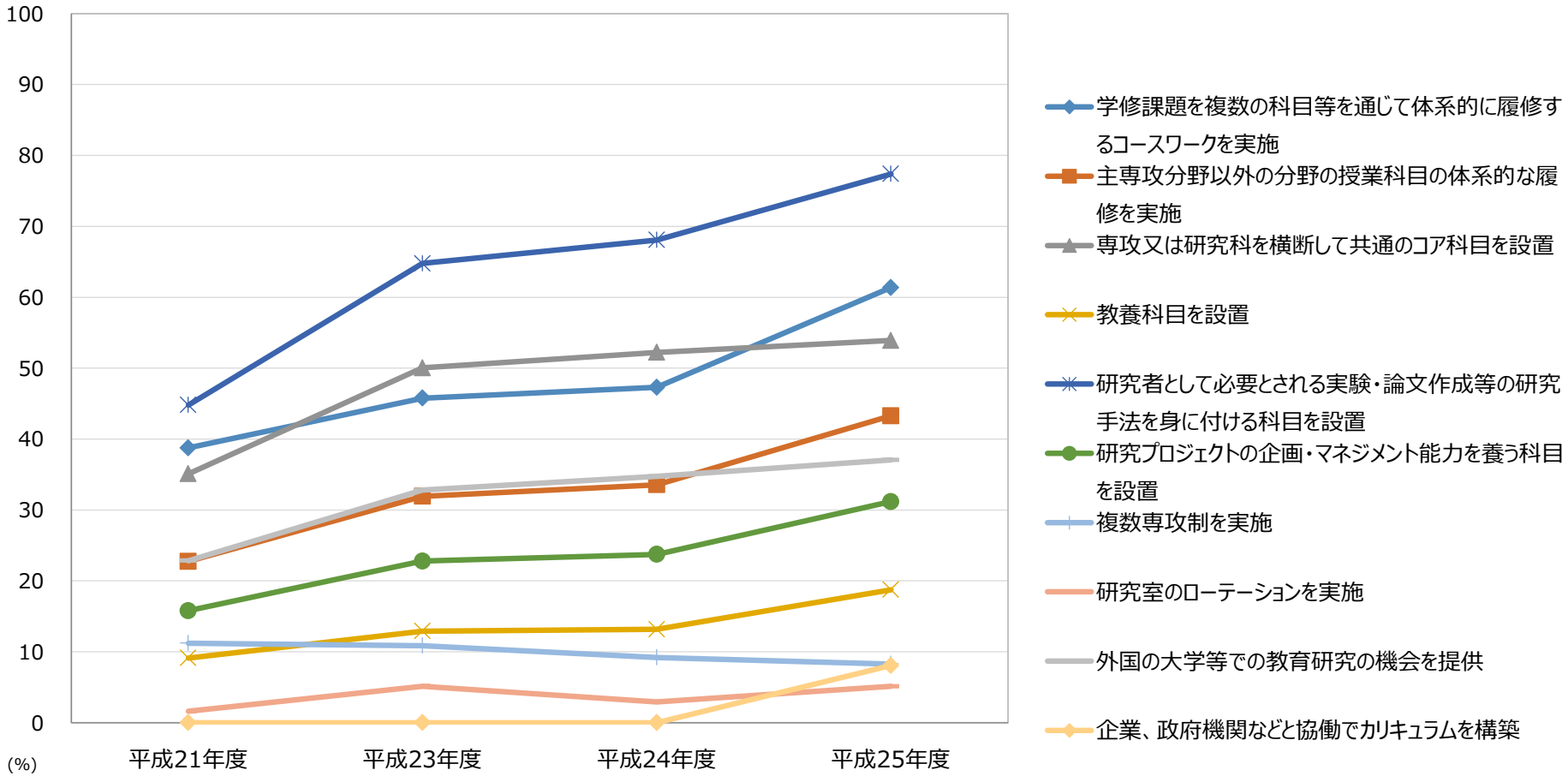
１　目的
　第2次大学院教育振興施策要綱(平成23年8月5日文部科学省決定)に基づく大学院教育改革の実態の把握及び分析等を行うことを目的として、毎年度ごとに大学院における活動状況を情報収集する。

２　実施時期および方法
　平成26年11月20日～平成27年2月27日
　eメールによる調査票の発送及び回答票回収

３　対象
　本調査は、大学院を置く全ての大学（学生募集停止の大学を除いた、国立86 大学、公立73 大学、私立455 大学の計614 大学）を対象とし、専攻単位で実施。回収率は100%。

■ 体系的な大学院教育の取組「推移」

- 平成21年度以降、ほぼ全ての取組について実施割合が増加。
- 特に、「学修課題を複数の科目等を通じて体系的に履修するコースワークの実施」は平成24年度から25年度にかけて約15%増加。
- 他方、「教養科目の設置」「複数専攻制を実施」「研究室のローテーションを実施」「企業、政府機関などと協働でカリキュラムを構築」など、俯瞰力や実践力を養うための取組については20%を下回っている。

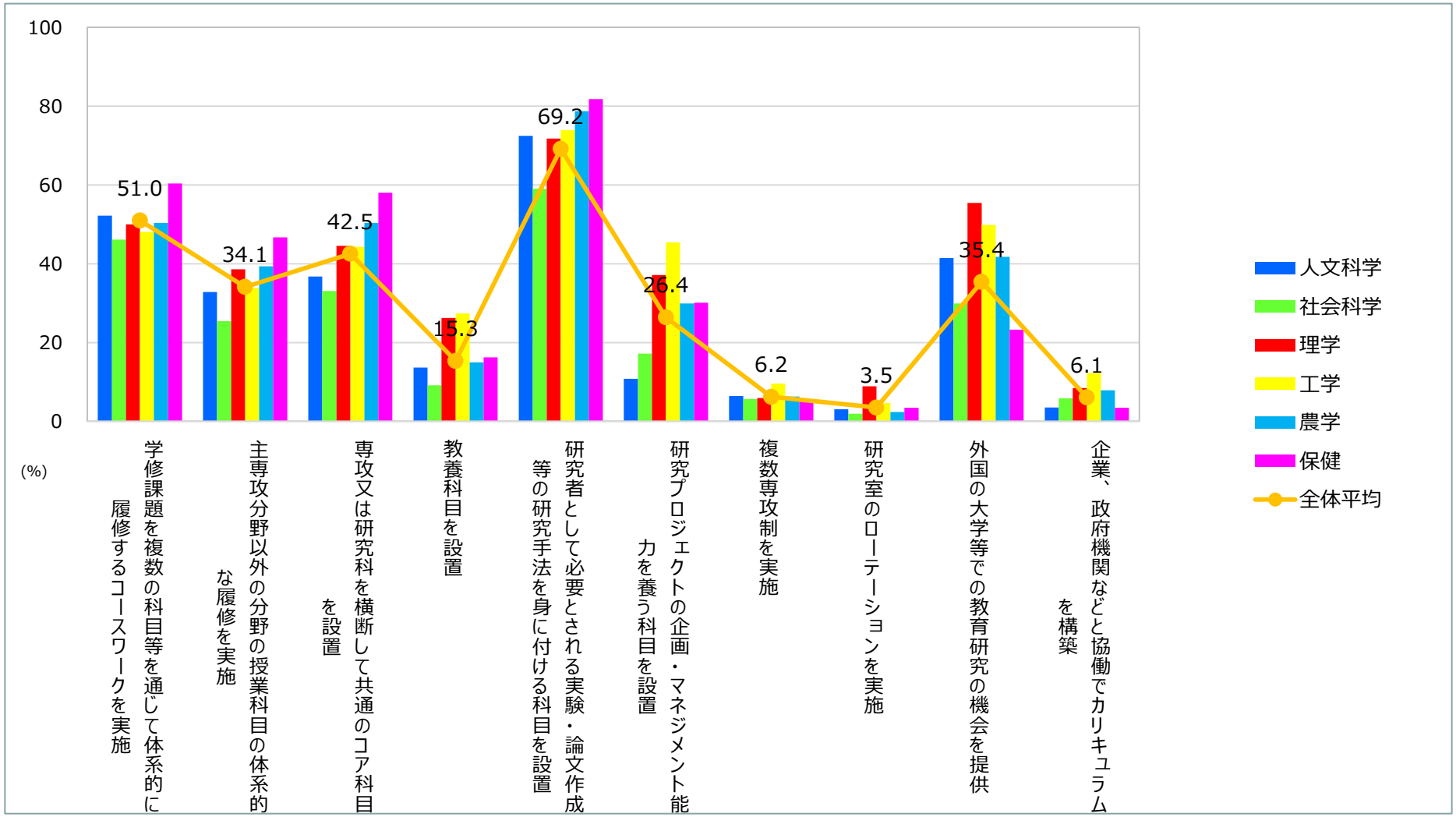


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 体系的な大学院教育の取組「専攻分野別」

「研究プロジェクトの企画・マネジメント能力を養う科目の設置」や「外国の大学等での教育研究の機会提供」については、理学・工学系と人文・社会科学系の間に開きがある。

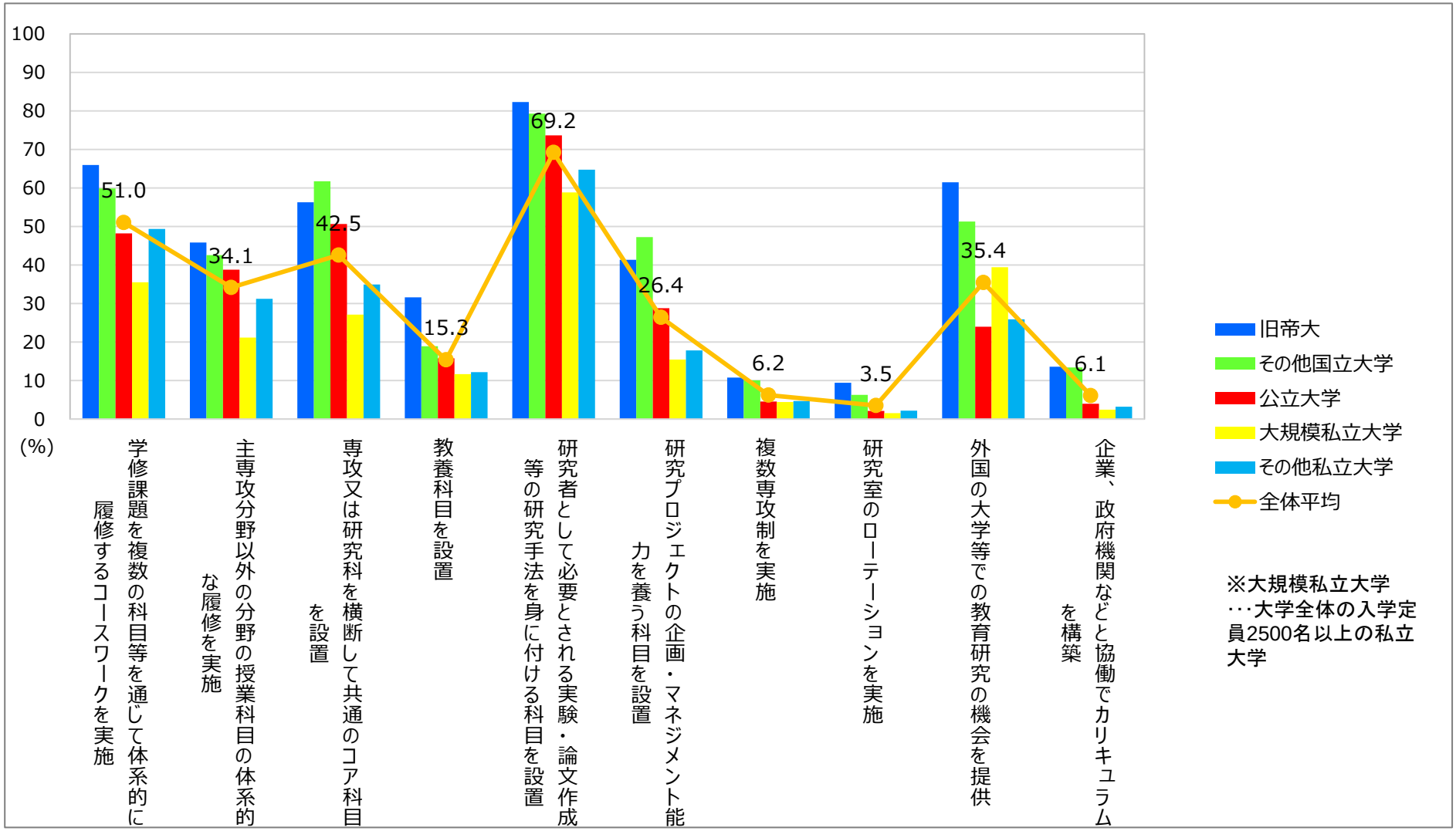


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 体系的な大学院教育の取組「大学規模別」

全体的に、旧帝大とその他国立大学で実施率が高く、大規模私立大学で低い傾向がある。

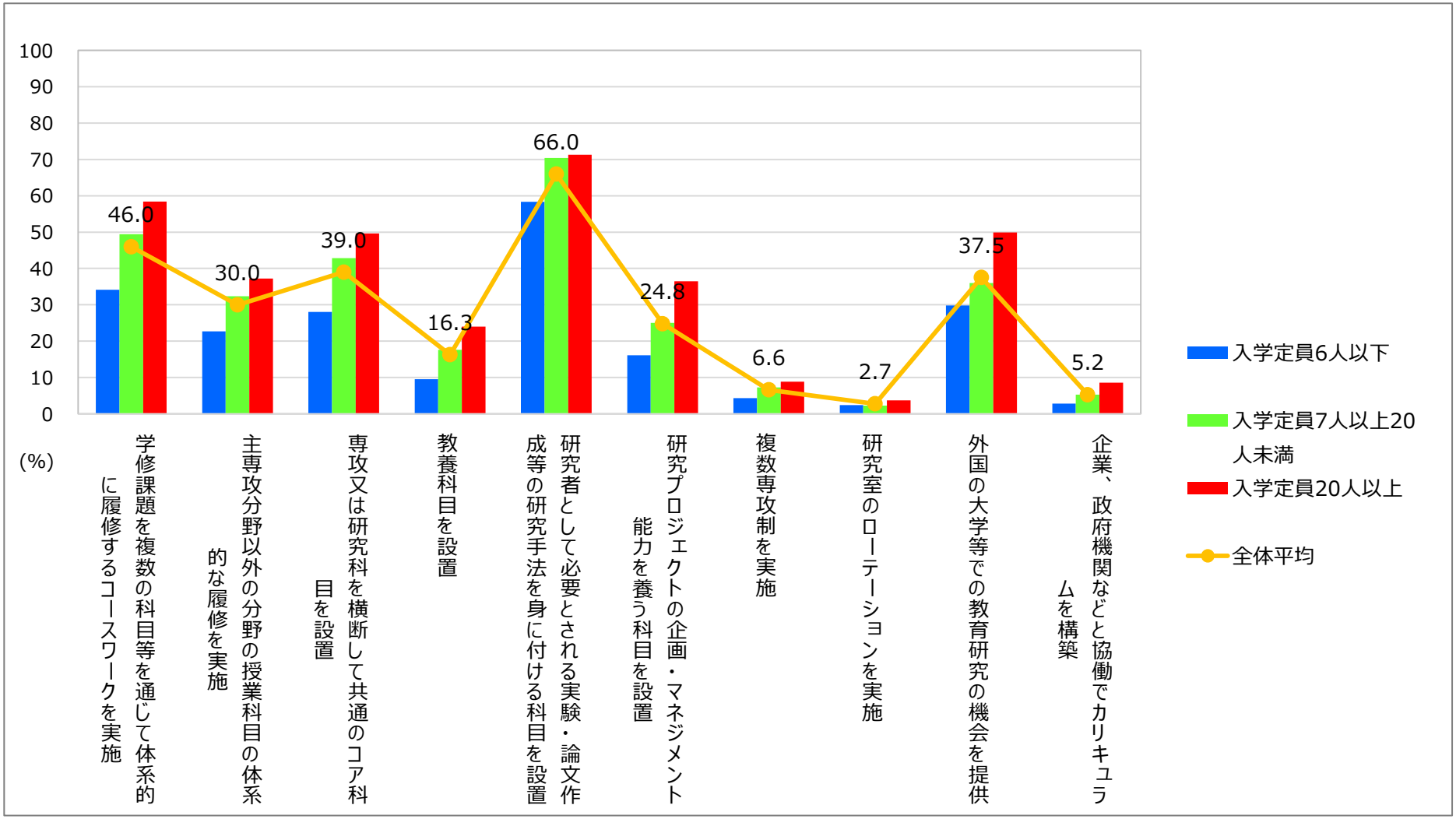


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■　体系的な大学院教育の取組「入学定員規模別」

いずれの取組の実施率も、入学定員20人以上の専攻が高く、入学定員規模が減少するにつれて低くなる。

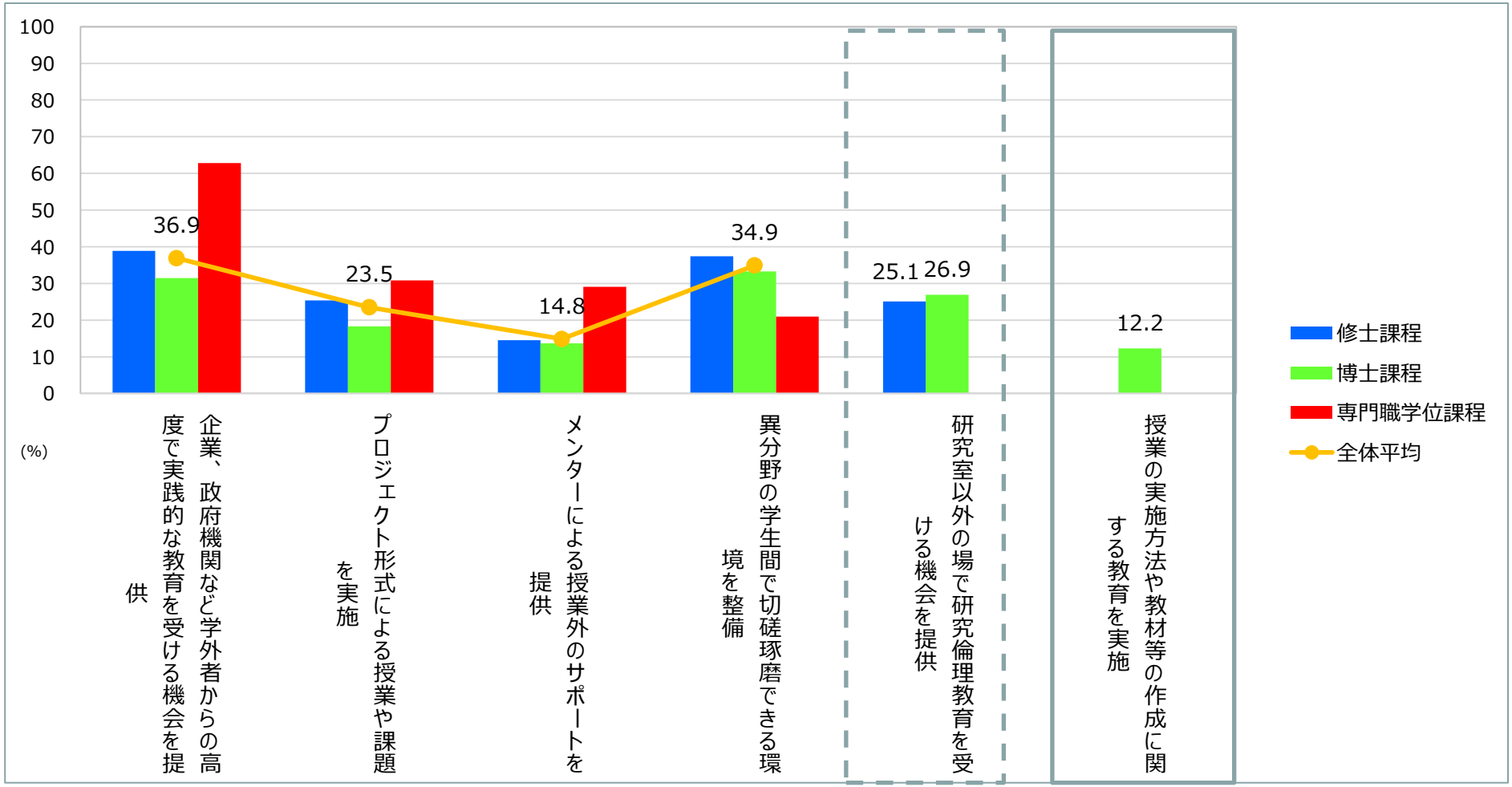


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 人材養成目的に応じた教育の取組「課程別」

- いずれの取組も40%を下回っている。
- 「メンターによる授業外のサポートを提供」、博士課程における「授業の実施方法や教材などの作成に関する教育を実施」は20%を下回っている。

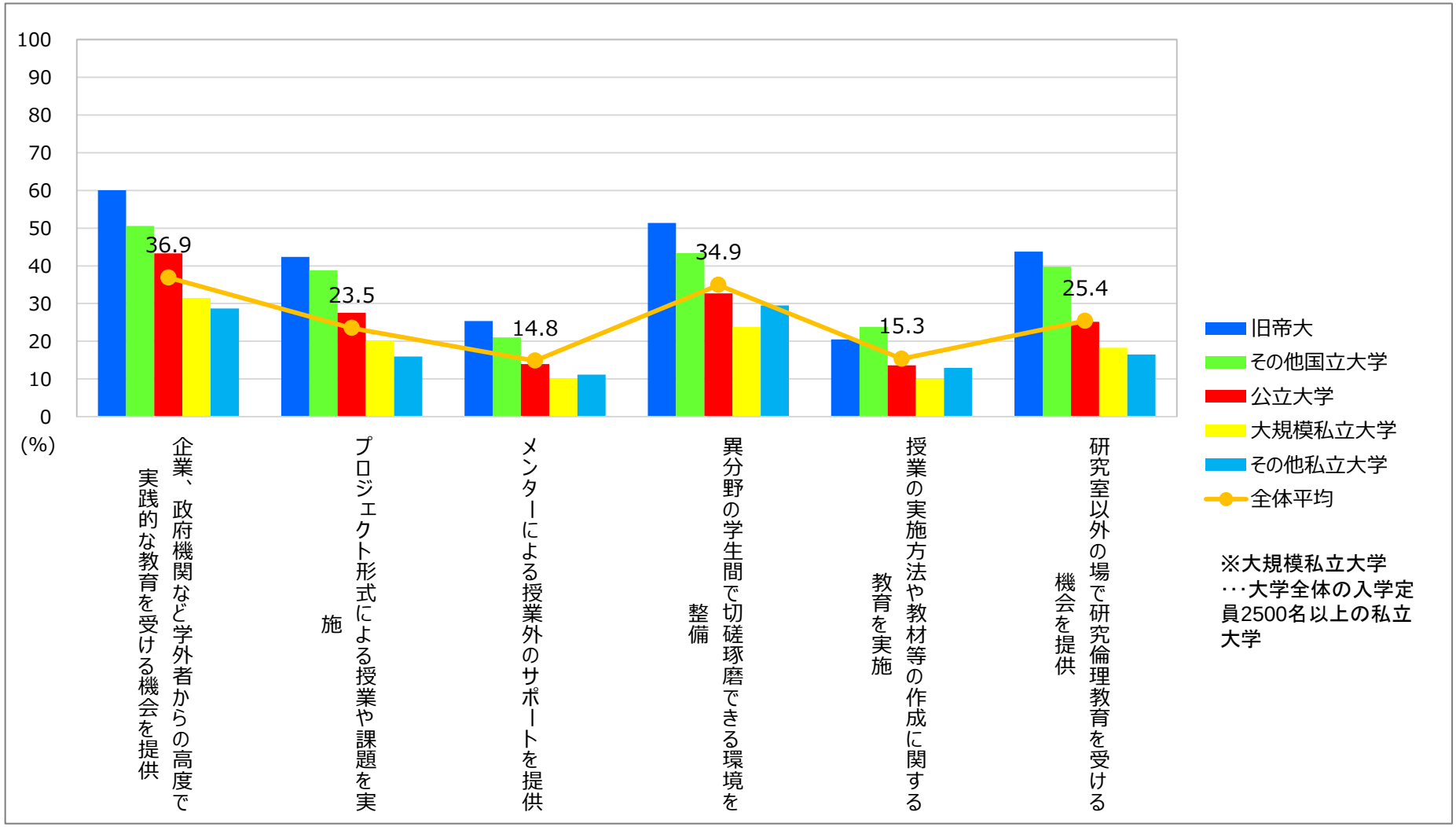


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■　人材養成目的に応じた教育の取組「大学規模別」

旧帝大、次いでその他国立大学の実施率が高く、私立大学は全ての取組において実施率が低い傾向。

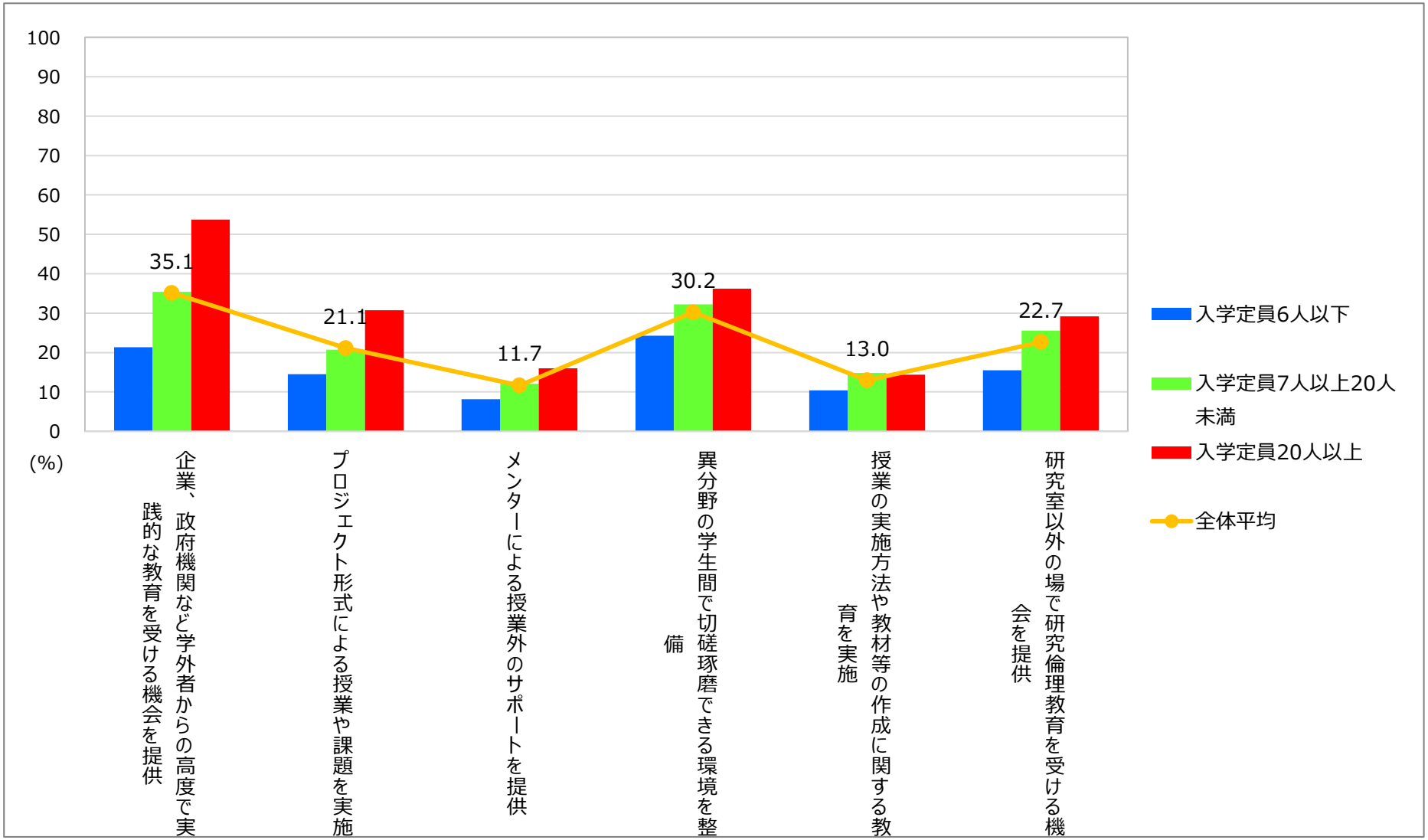


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　人材養成目的に応じた教育の取組「入学定員規模別」

ほぼ全ての取組の実施率は、入学定員20人以上の専攻が高く、入学定員規模が減少するにつれて低くなる。

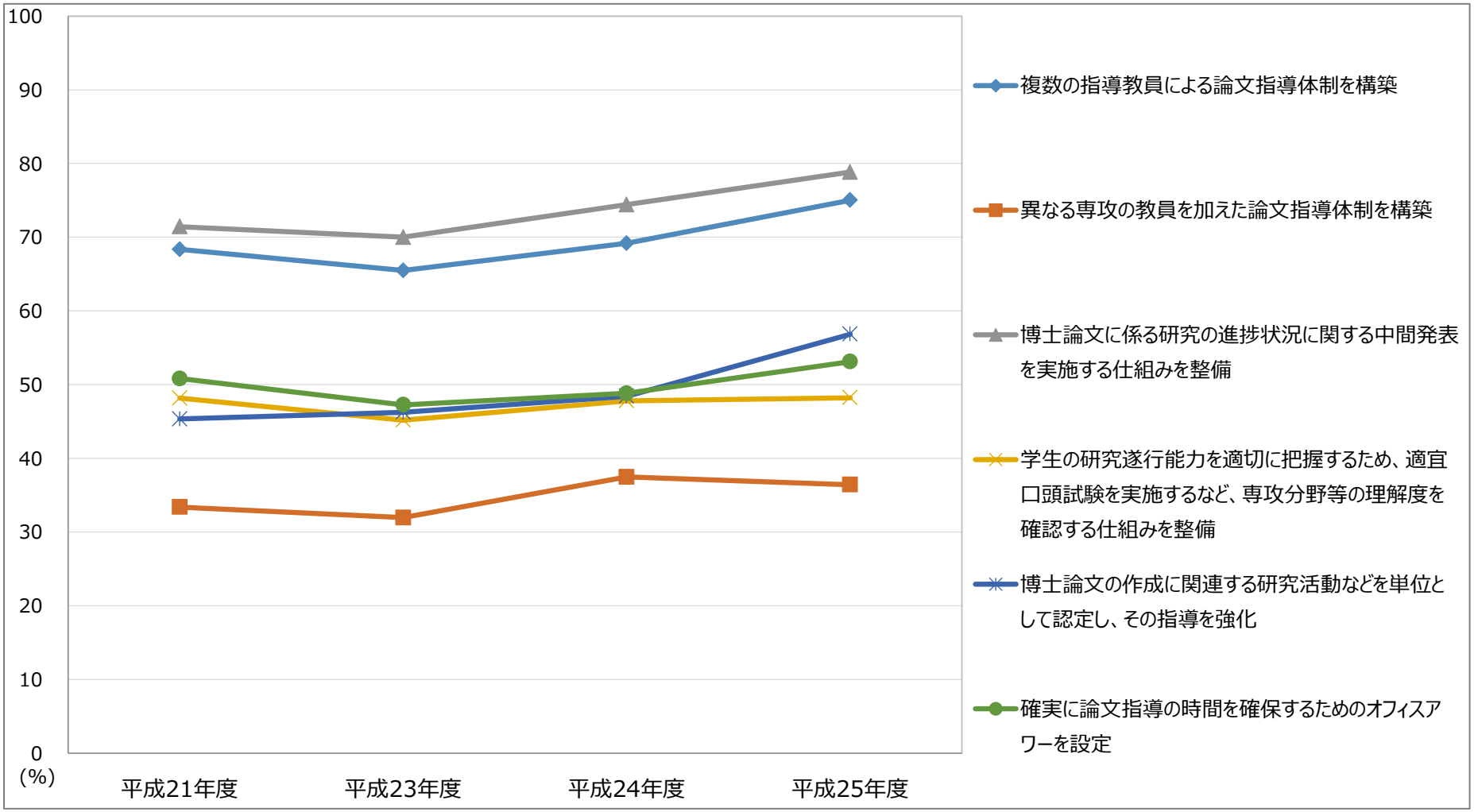


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 博士課程における研究指導体制に係る取組「推移」

- 取組は概ね増加傾向。
- 「複数の指導教員による論文指導体制を構築」の実施率は高いが、「異なる専攻の教員を加えた論文指導体制を構築」の実施率は低い。

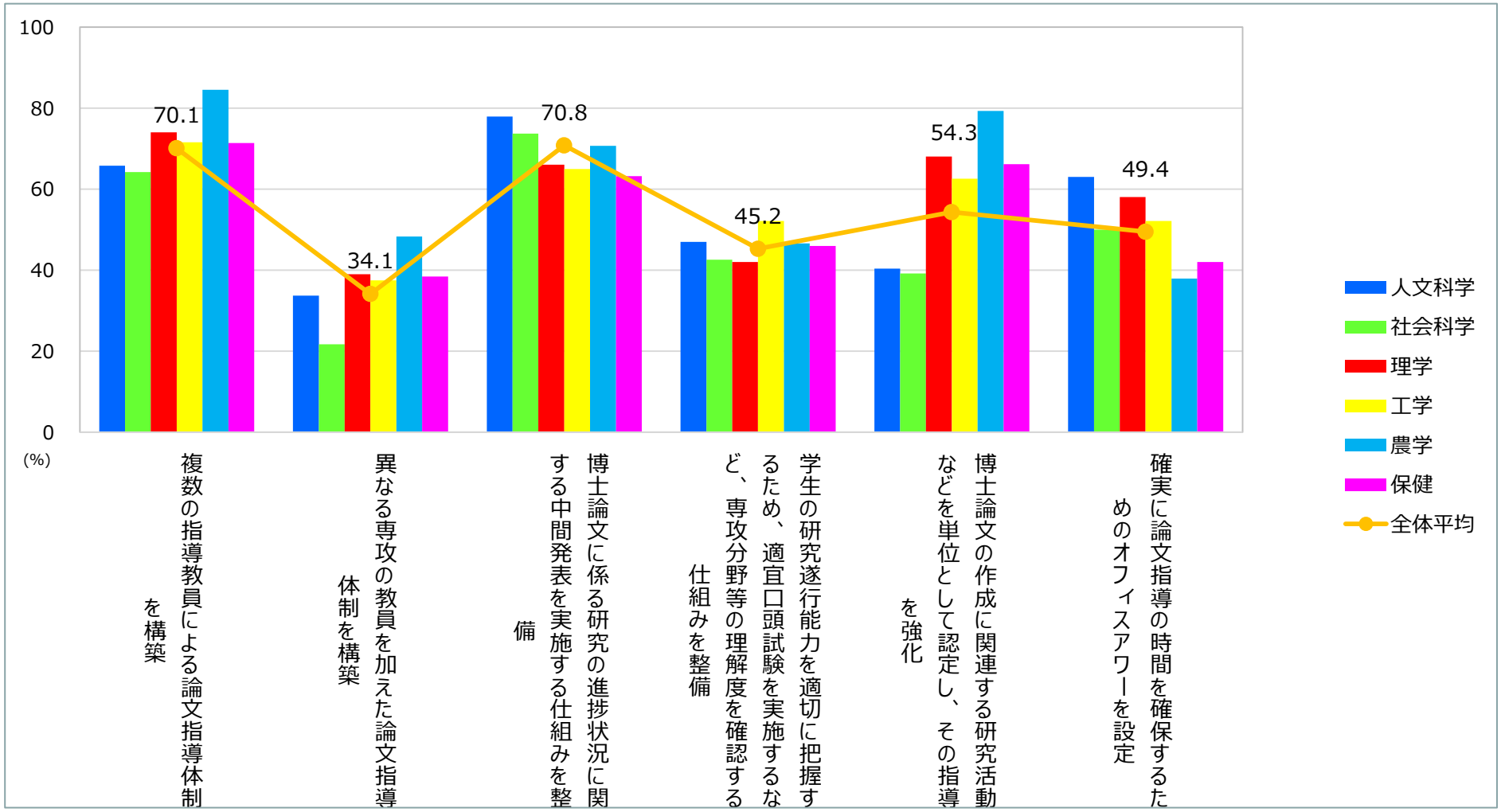


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■　博士課程における研究指導体制に係る取組「専攻分野別」

「複数の指導教員による論文指導体制を構築」や「異なる専攻の教員を加えた論文指導体制の構築」などの研究指導体制の組織化は、人文社会系よりも理工農系の方が高い。

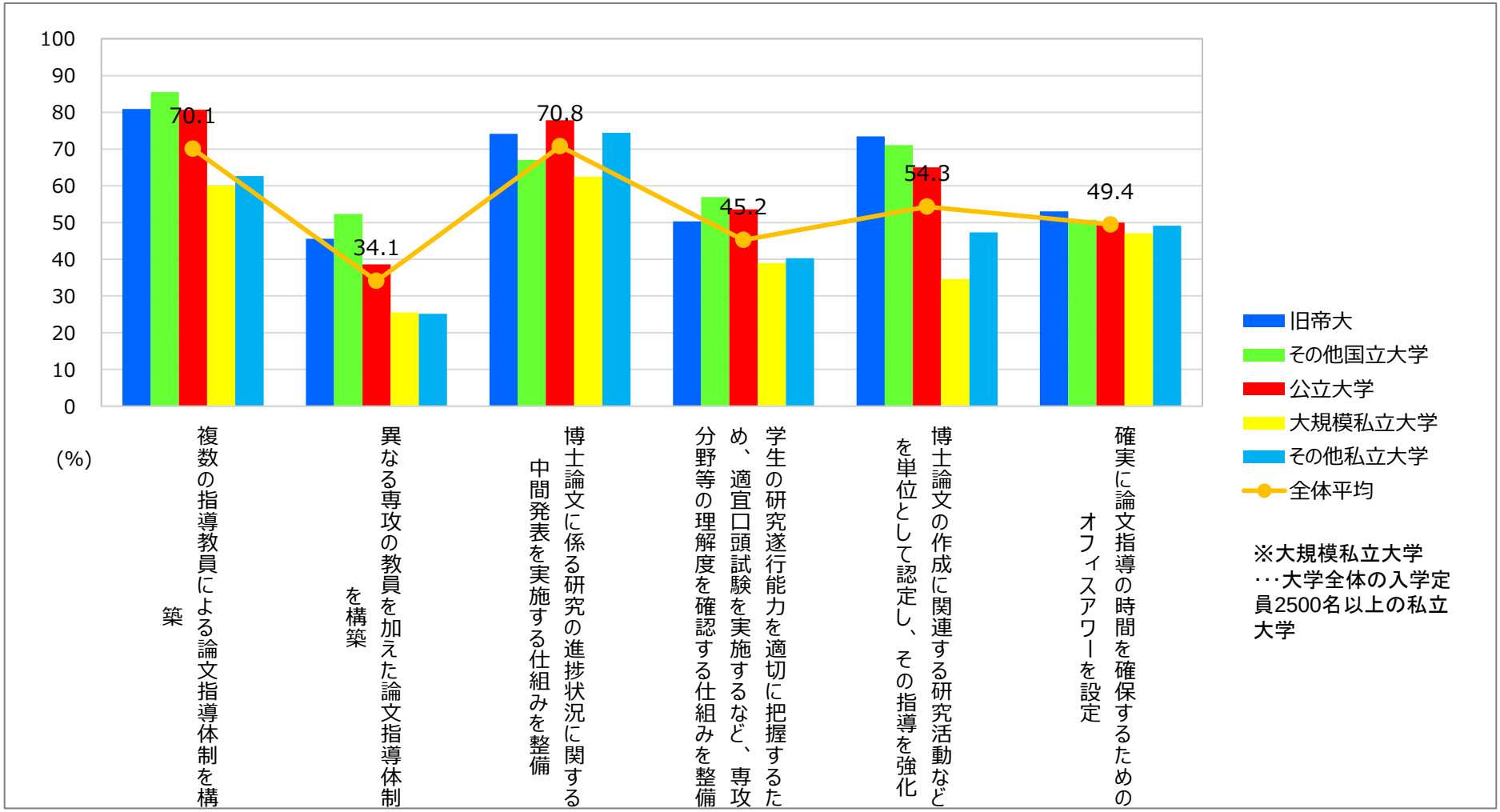


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　博士課程における研究指導体制に係る取組「大学規模別」

「複数の指導教員による論文指導体制を構築」「異なる専攻の教員を加えた論文指導体制を構築」「学生の研究遂行能力を適切に把握するため、適宜口頭試験を実施するなど、専攻分野等の理解度を確認する仕組みを整備」など、組織的な研究指導体制やコースワークから研究指導への円滑な移行に係る取組の実施率は、私立大学において低い傾向。

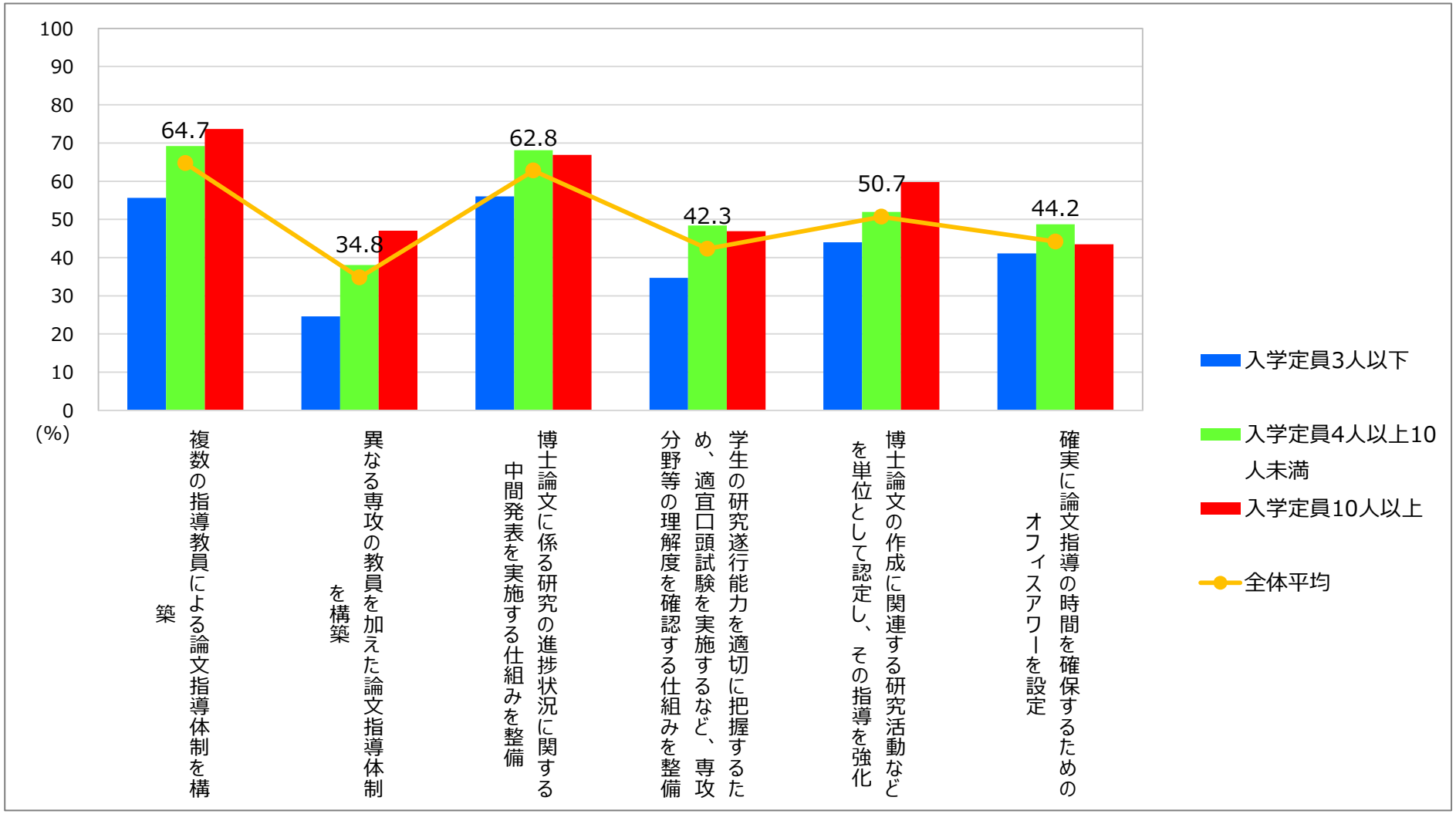


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　博士課程における研究指導体制に係る取組「入学定員規模別」

いずれの取組も、入学定員が3人以下の専攻では実施率が低い傾向にある。

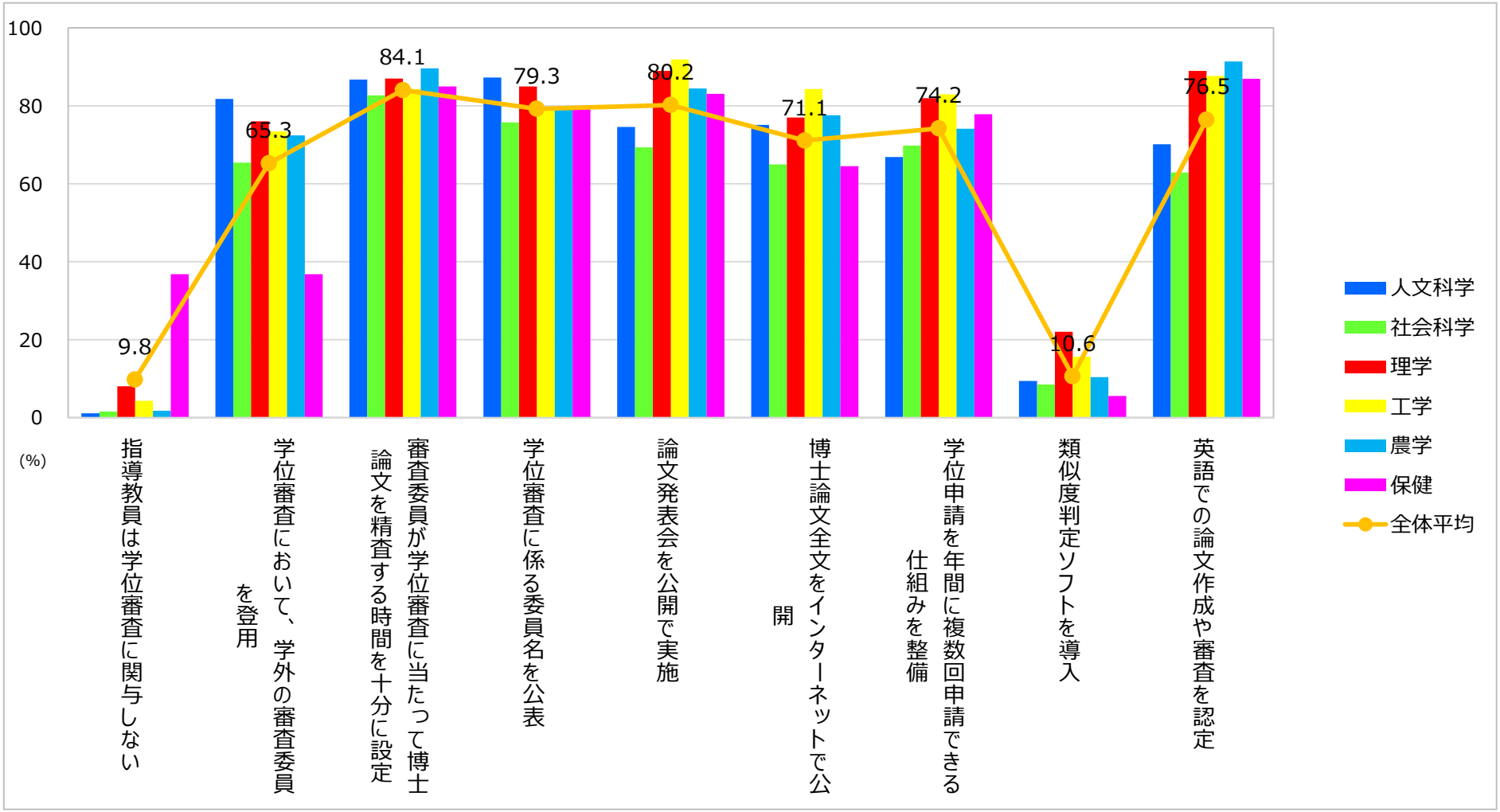


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 博士学位審査に係る取組「専攻分野別」

- 「指導教員は学位審査に関与しない」と「類似度判定ソフトを導入」の取組が、他の取組に比べ実施率が低い。
- 保健分野では、「学位審査において、学外の審査委員を登用」が低い。

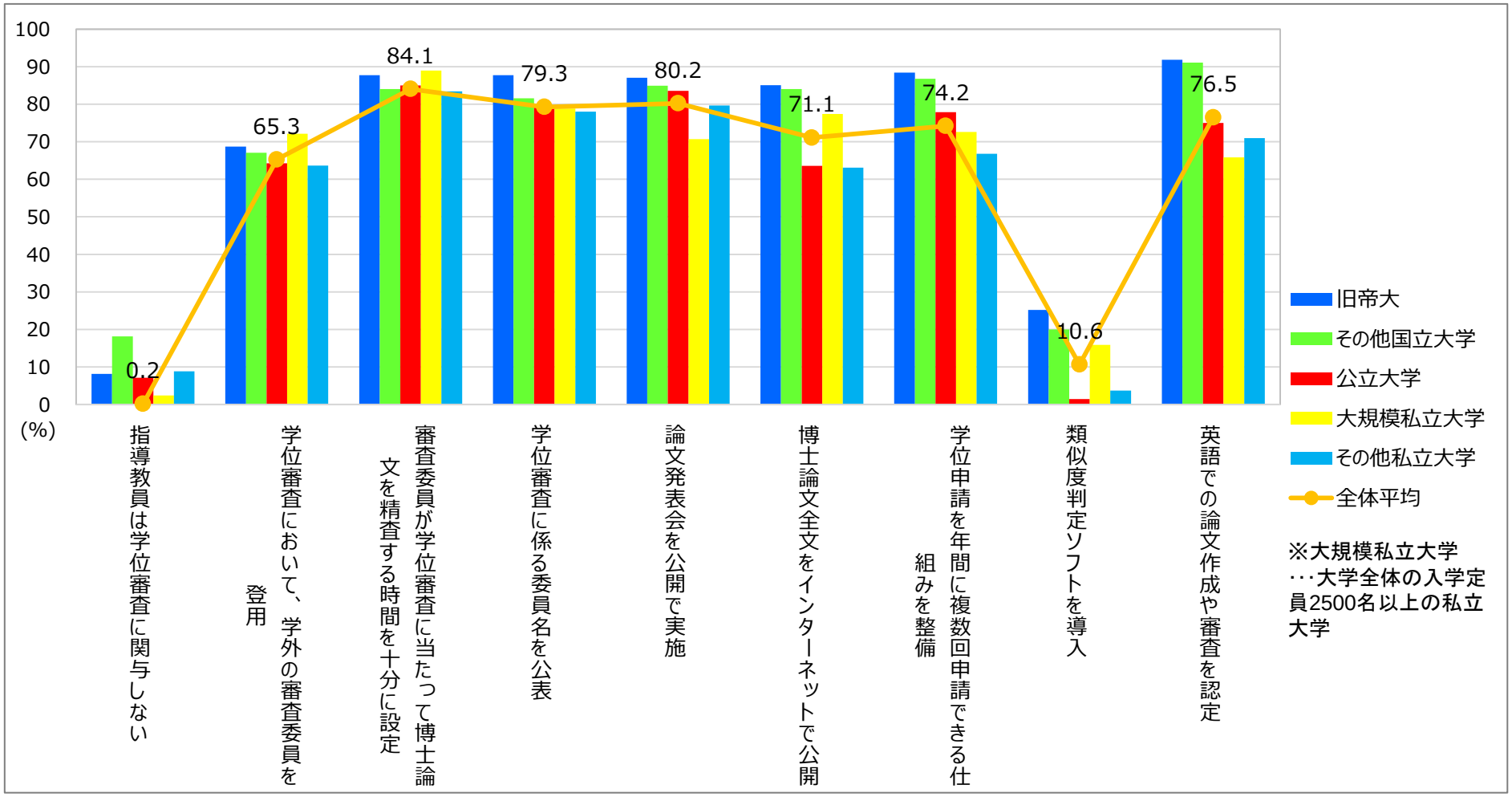


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 博士学位審査に係る取組「大学規模別」

「学位申請を年間に複数回申請できる仕組みを整備」「英語での論文作成や審査を認定」など、柔軟な学位授与のための取組の実施率は、公私立大学で低い。

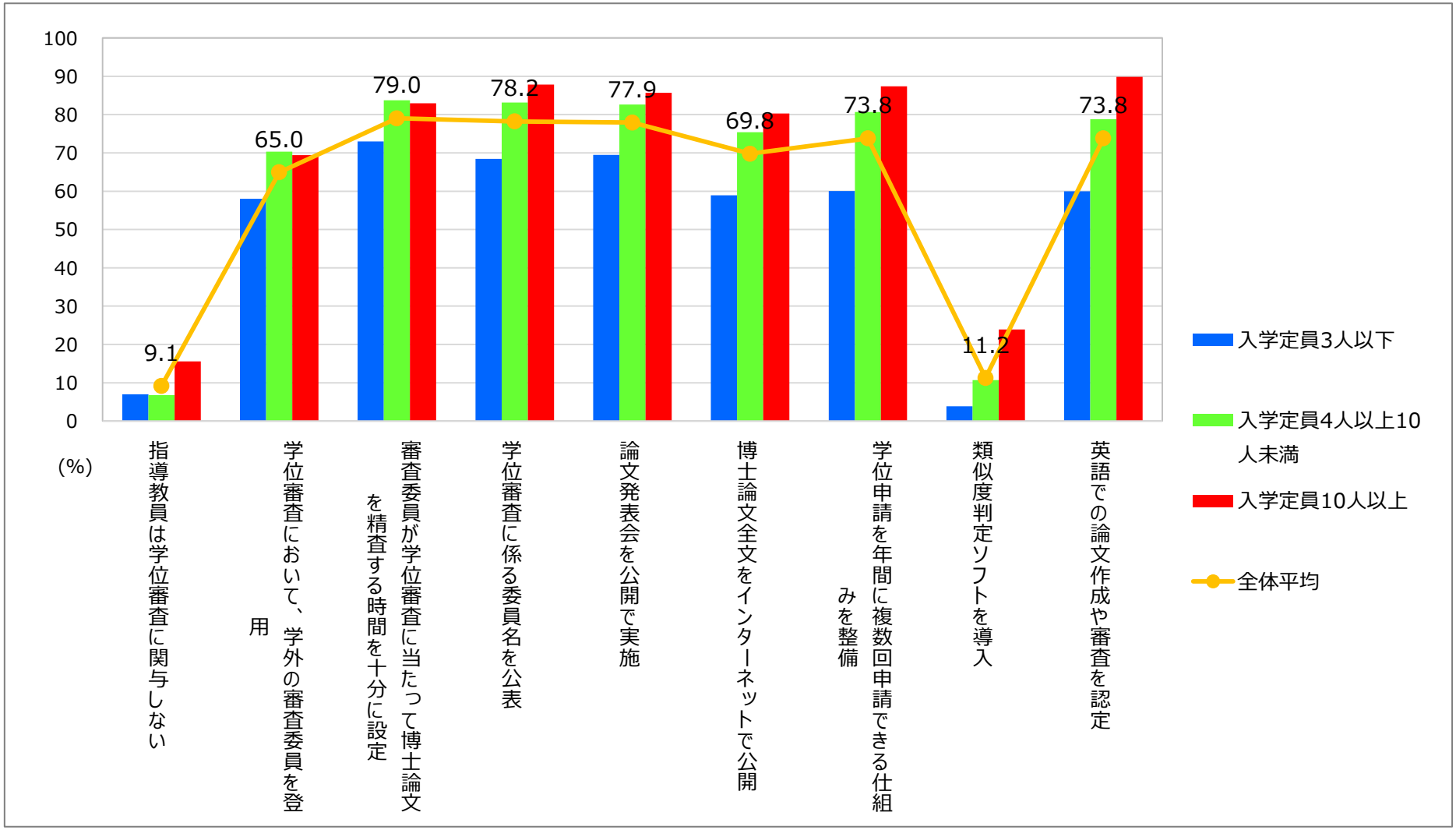


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 博士学位審査に係る取組「入学定員規模別」

入学定員数の多い専攻の方が、取組の実施率が高い傾向にある。

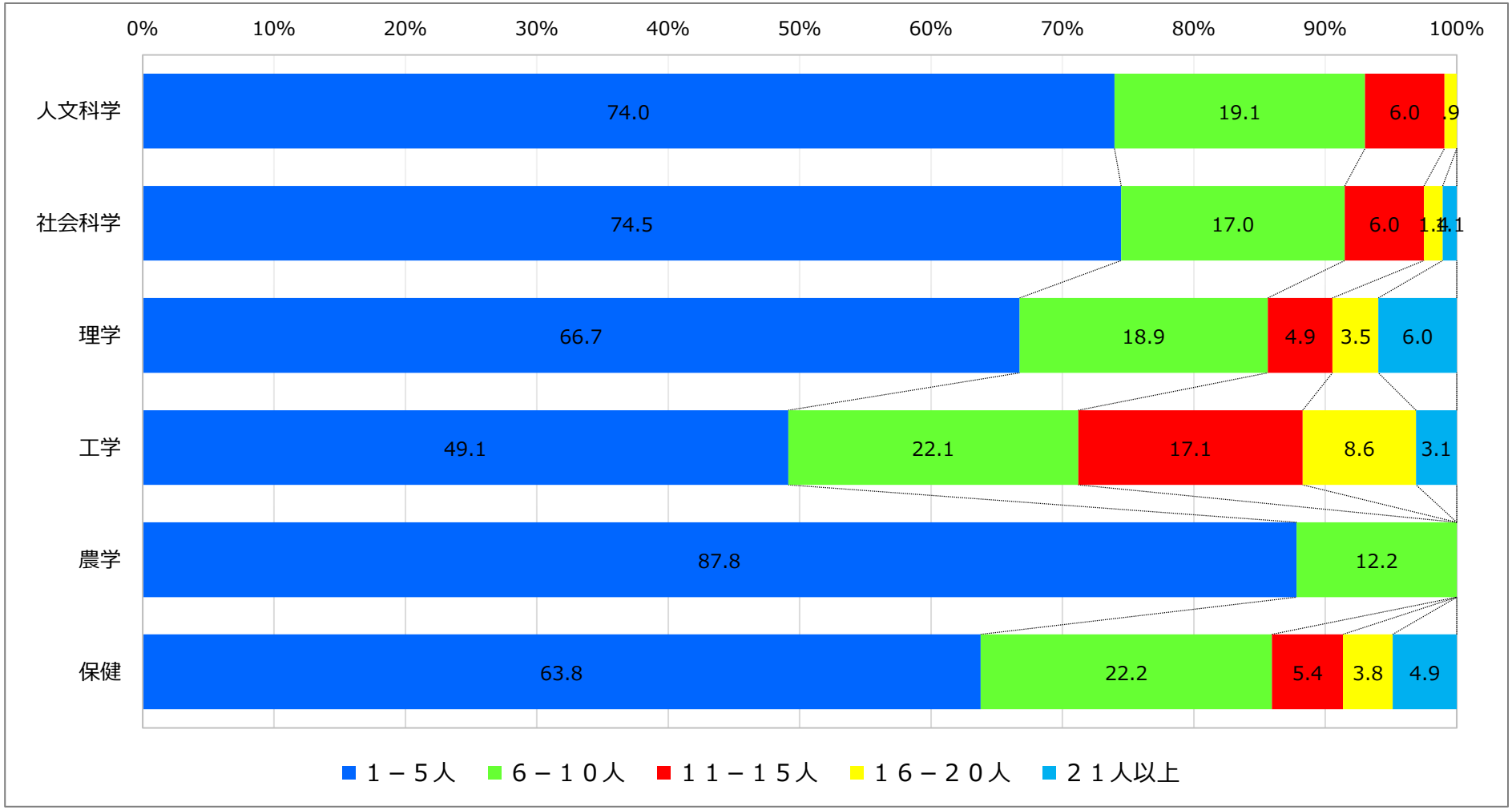


(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典:文部科学省「大学院活動状況調査」

■　博士課程担当の研究指導教員が受け持つ指導学生数の分布（GCOE採択大学）

※研究指導教員・・・学生への研究指導を単独で行い得る教員
多くの分野で1～5人が60%以上であるが、11人以上の指導学生を抱える研究指導教員の割合が「工学」28.8%、「理学」14.4%であり、21人以上も数%ある。

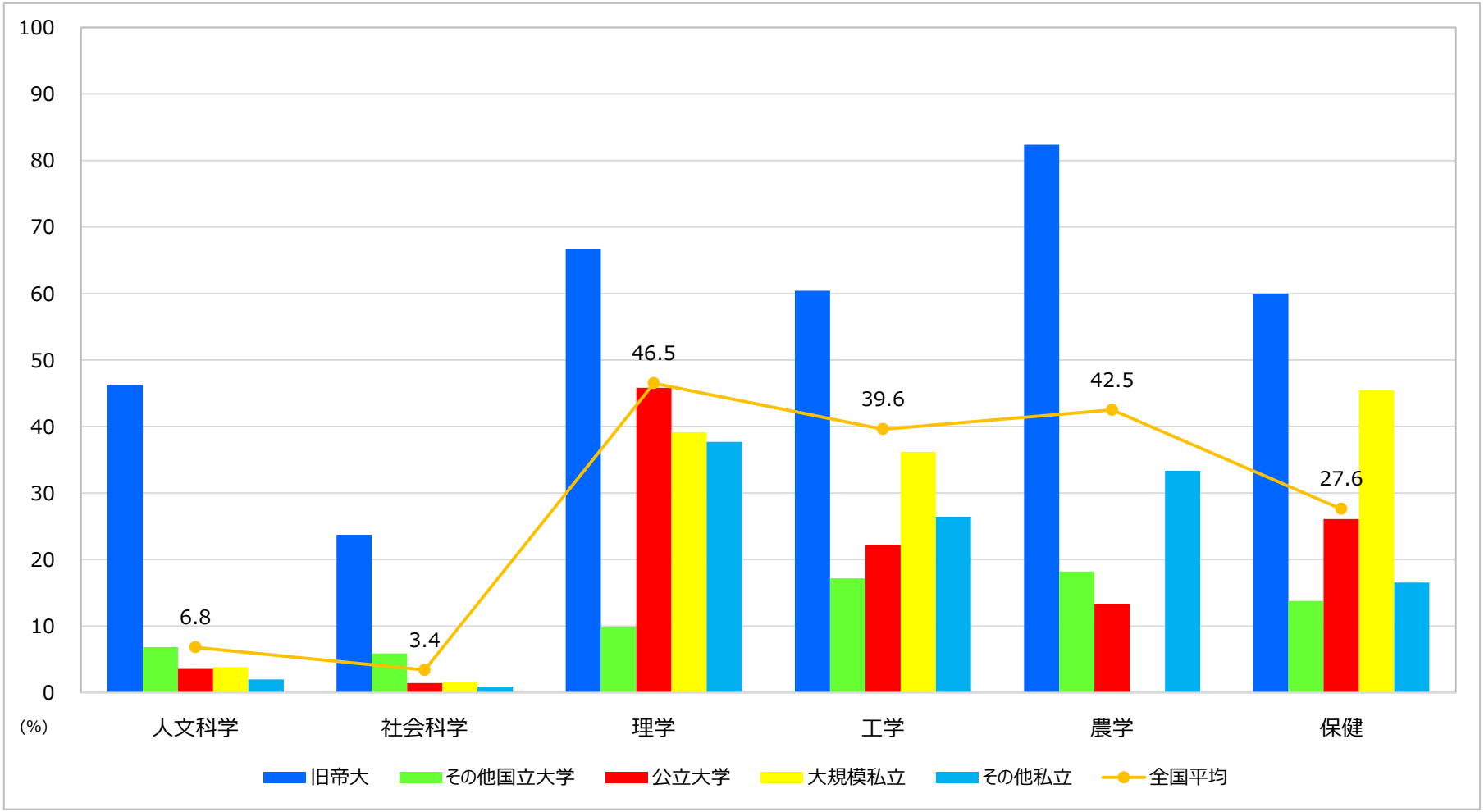


(注)１　専攻単位で調査
　　２　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■ 研究指導委託等実施状況「大学規模別実施率」

- 大学規模別に見ると、全体的に旧帝大で実施率が高い。
- 「理学」・「工学」・「農学」の実施率が高いが、「人文科学」・「社会科学」では10%以下と低い。



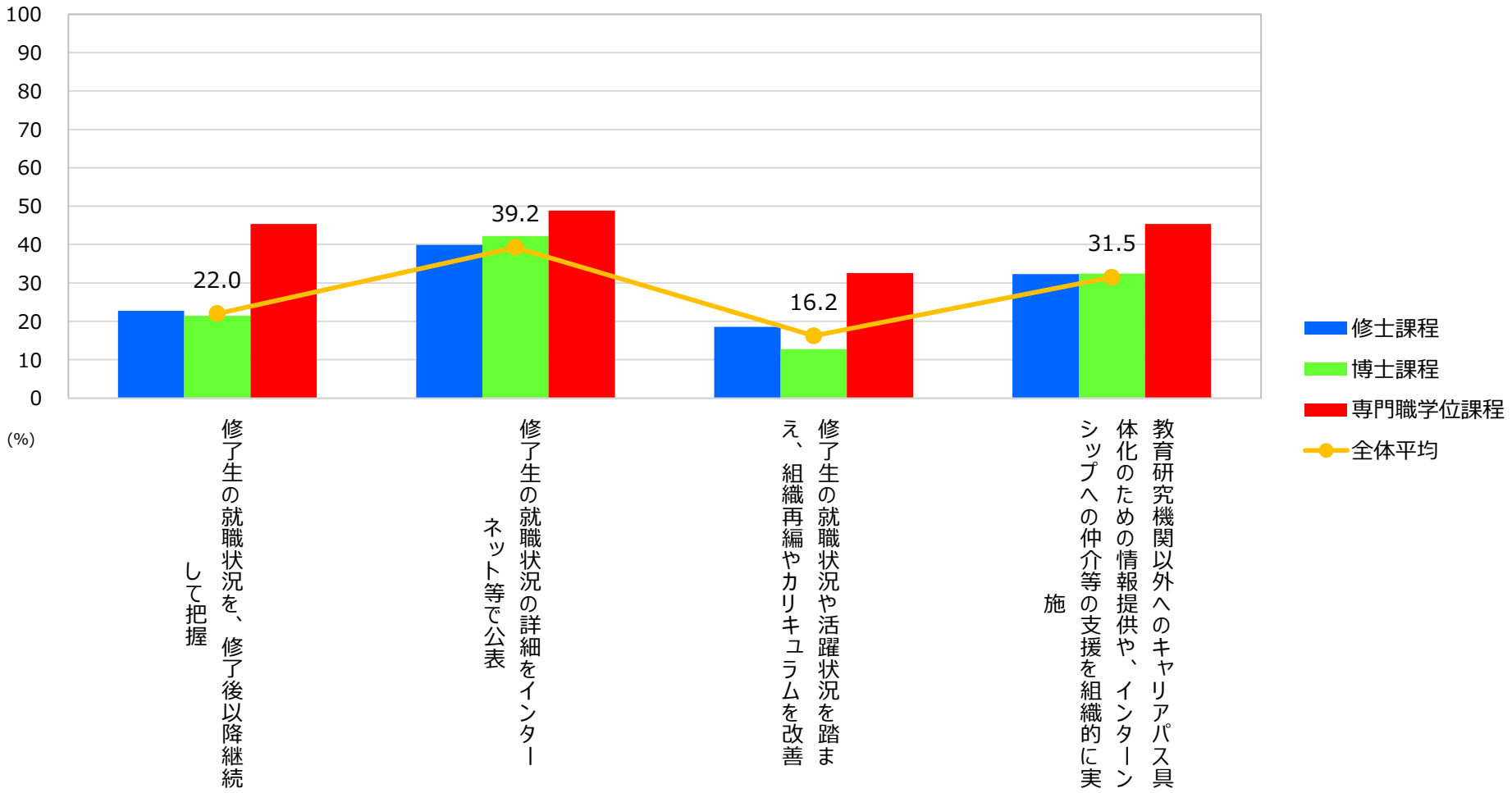
※大規模私立大学･･･入学定員2500名以上の私立大学

(注)1 専攻単位で調査
2 各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　多様なキャリアパスを確立するための取組「課程別」

全体的に実施率が低く、「修了生の就職状況を、修了後に継続して把握」が約22%と低いことによって、「修了生の就職状況や活躍状況を踏まえ、組織再編やカリキュラムを改善」も約16%と低く、修了後を意識したカリキュラムの改善の実施率が低くなっている。

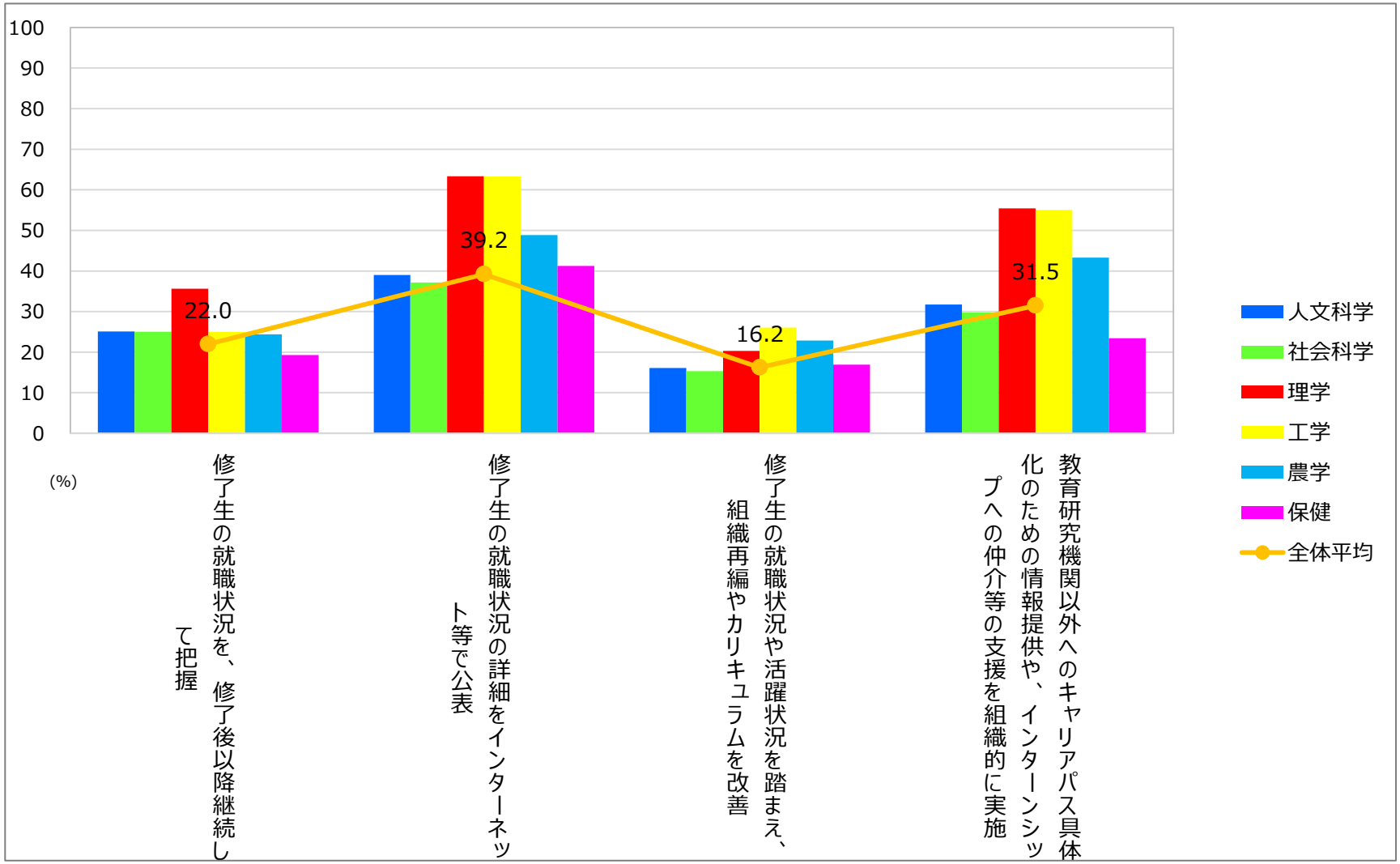


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　多様なキャリアパスを確立するための取組「専攻分野別」

全体的に「理学」・「工学」の実施率が高く、「人文科学」・「社会科学」・「保健」で低い。

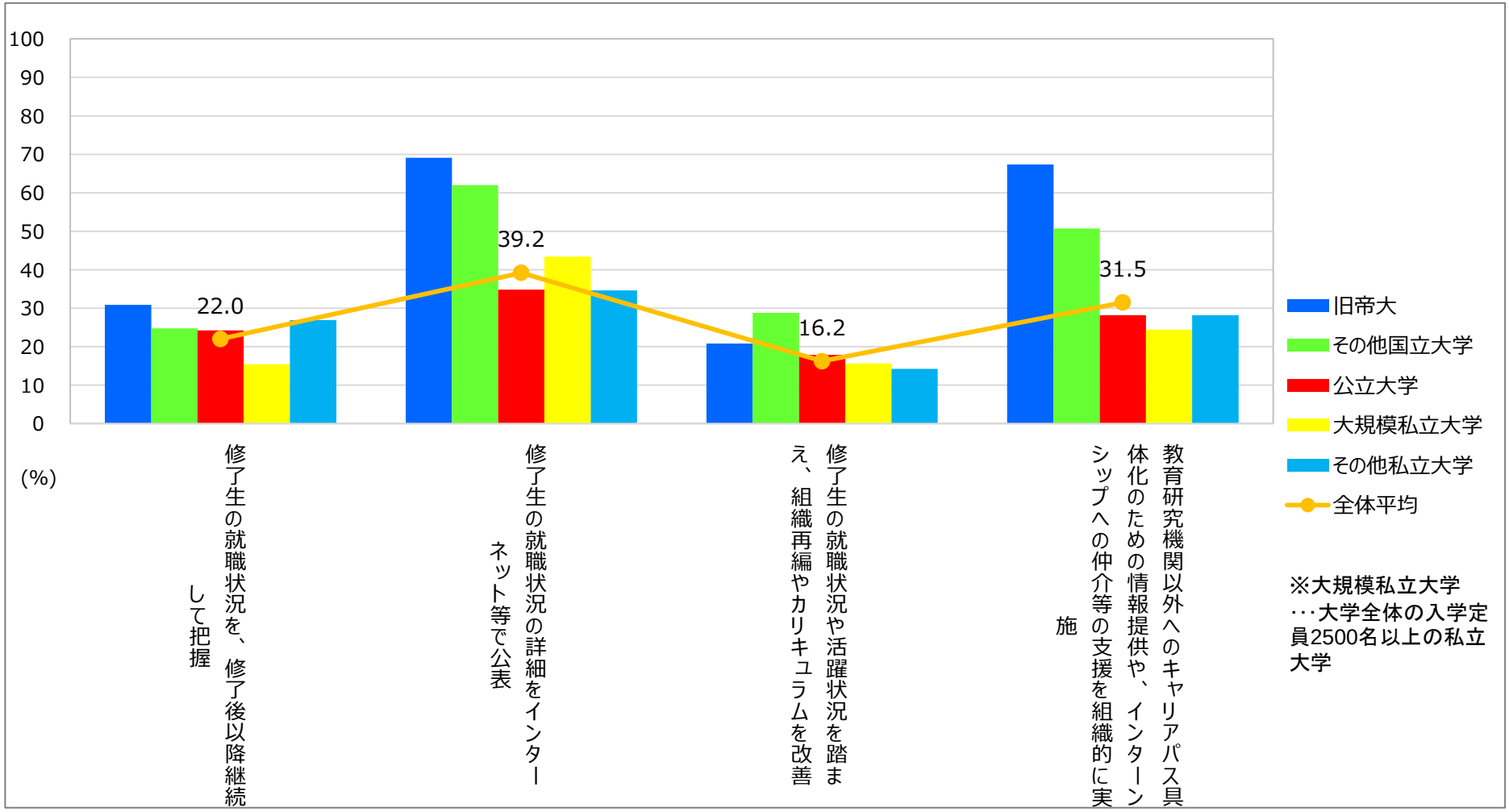


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　多様なキャリアパスを確立するための取組「大学規模別」

「修了生の就職状況を、修了後以降継続して把握」、「修了生の就職状況や活躍状況を踏まえ、組織再編やカリキュラムを改善」は大学規模別で差は見られない。

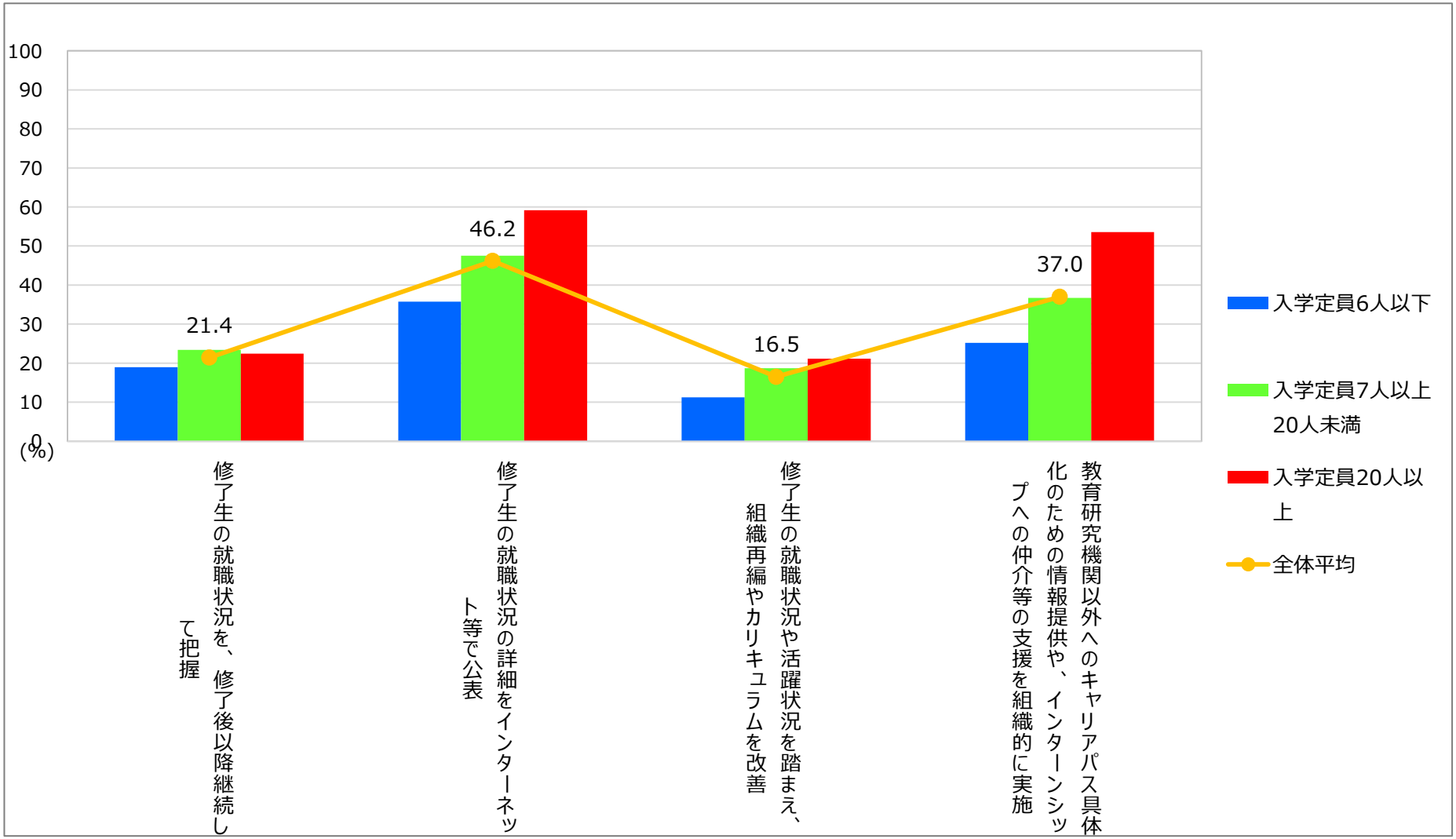


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　多様なキャリアパスを確立するための取組「入学定員規模別」

入学定員6人以下の専攻では、いずれの取組の実施率も低い。

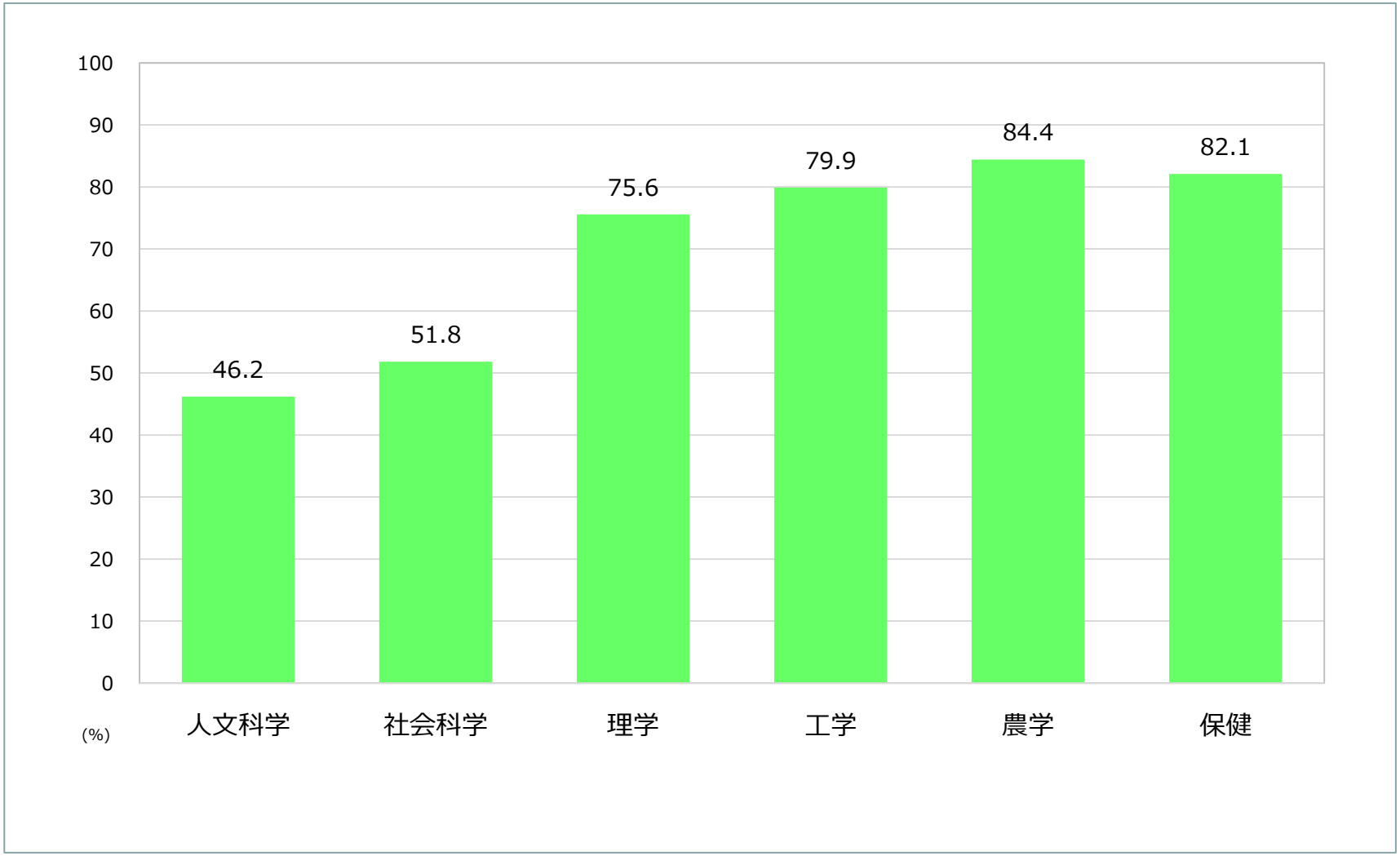


(注)1　専攻単位で調査
　　2　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」

■　博士課程の学位授与率

学位授与率・・・「学位授与者数／その年度に修了した修了者数」で算出した推定値
「理学」・「工学」・「農学」・「保健」は75%以上と高いが、「人文科学」・「社会科学」50%前後と低くなっている。



(注)１　専攻単位で調査
　　２　各年度10月1日現在

出典：文部科学省「大学院活動状況調査」